

優秀賞

私たちは賢い消費者になれるか
— 激安ショップを視点とした経済学習の単元構成の工夫 —

新潟県 上越教育大学附属中学校
柳澤 一輝

1 はじめに

当校では、平成16年度より『文部科学省研究開発学校』の指定を受け、総合的な学習と教科の枠組みを再編した新たな教育課程の開発に取り組んでいる。総合的な学習の時間と社会科が一体となった「総合社会科」では、「社会に関する関心を高め、自らかかわりながら多様な視点から社会的事象を考察する能力を育てるとともに、地球市民としての在り方や生き方についての自覚を育て、多文化共生社会を実現していく資質や態度を養う」ことを目標とした。この教科の再編により、ダイナミックに単元を構成し、より学びを深めることができると考える。

ここでは、3年生で実践した総合社会科「私たちは賢い消費者になれるか」の実践について述べる。

3年生119名を対象に実施したアンケート調査では、これからの日本経済について、57%の生徒が「暗い」または「非常に暗い」と回答し、12%の生徒が「今と変わらない」と考えている。その理由として「長引く不況」や「失業（リストラ）」「倒産」「企業の海外進出」などの回答が多く見られた。また、経済の学習については、「難しい」「語句が分からない」「自分とは関係がない」「あまり興味がない」と回答した生徒は62%となった。以上のことから大半の生徒はこれからの日本の経済について、明るい展望をもっていない実態が浮き彫りとなった。当然、生徒は勤労所得を得ているわけではない。身の回りには楽しくて刺激的な話題や情報が溢れ、経済について深く考える余地もないのが現状ではないだろうか。しかし、経済について深く考えなくても、生徒は消費活動を繰り返している。例えば、服を買うことやメールをすることも消費活動であり、生徒自身は消費者であるといえる。また、不況や失業の増加といった、先行きの見えない経済状況のなかで、生徒は今後の世界や日本、地域の経済を支えていく存在でもある。そのなかで経済や金融とどう向き合い、何を学び、どう生きるのかを中学校の段階から学ぶことは必要不可欠であると考えた。

藤原和博^{*1}氏は平成15年度「全国金融教育協議会」におけるパネルディスカッションにおいて、新しい社会を作っていくために取り上げるべき視点として、(1) お金の問題 (2) 家の問題 (3) 地域の政治 (4) 法律の問題 (5) 結婚と離婚 (6) 自殺の問題 (7) 宗教の7つを挙げた。今後、学校教育の中でこれらを学び、確かな学力を育成していく必要性を説く藤原氏に同感である。それは、前述した視点こそ、今日的な課題として、生徒が切実感をもちながら学ぶことができる視点だからである。生徒は自分とのかかわりを見いだすことで、より強く学びたいと感じるのである。その「お金の問題」についてであるが、近年には携帯電話の普及やインターネットなどとともに、中・高生の消費者トラブルも増えてきている。これらの問題には、自己の責任や主体的な判断が求められることはいうまでもない。そこで、経済や金融を身近に感じながら学びを深め、自らのかかわり方を主体的に判断しようとする意欲や態度を養うことを目標に設定し本実践に取り組んだ。その際、「激安ショップ」を題材に、「賢い消費者」としての在り方を問う学びを位置付けることで、より身近に経済や金融をとらえることができると考える。

^{*1} 東京都杉並区立和田中学校校長。民間から教育界に入り、「よのなか」科の授業を自ら担当。

II 本実践を通して

本実践は、中学校社会科公民的分野の経済単元を、総合的な学習の時間と一体とした「総合社会科」において行った成果である。ここでは、従来の教科書中心の網羅的な学習から、体験活動や調査活動を取り入れ、自分の在り方や生き方を問う学びとして単元開発を試みた。

(1) 教材化の視点

ここでは、激安ショップを教材として扱う。激安ショップとは、100円均一ショップ（以下100均と記す）や大量生産による価格の安い衣料品店などを指す。デフレーションが進み、生徒の身の回りにはモノ・情報が溢れている。生徒の思考で考えると、安い商品を簡単に購入できることは豊かであるといえる。生徒たちも頻繁に100均に通い購入している姿を見かける。しかし、100均に並ぶ商品のほとんどがアジアで生産されたり、流通経路を知っていたりする生徒は少ないのではないだろうか。また、なぜ100均と呼ばれるショップが生まれてきたのか、その背景にどんな状況があるのか、説明できる生徒も少ないであろう。

100均の製品のほとんどがアジアで作られ、日本企業は相次いで海外移転を果たしている。モノ・ヒト・技術が海を渡り、移動している。このことは「グローバル化」にもつながるといえる。しかし、このことは結果的に何を生み出したのであろうか。企業の海外移転は、国内の産業の空洞化を生み出し、デフレーションや倒産、失業を増加させたともいえる。現在、100均や激安ショップの看板は街の至る所で目にするが、そこから生じる様々な課題や問題点を日本ひいては世界の経済と関連付けて学ぶことはできないだろうかと考え、本単元を構想した。そして、「激安ショップは私たちの生活を豊かにするか」というテーマを設定し、調査活動や体験活動などを取り入れた調査活動やテーマに対する意見交換を実施することで、より身近に経済や金融をとらえられるのではないかと考えた。

また、本実践にあたり、以下の手立てをとることで本単元で設定した学力を育成することをねらった。

- ① 様々な課題を設定でき、多様な追究ができるよう、テーマに関係するアンケートを実施して問題意識を事前に把握し、生徒の問題意識を包括するテーマ「激安ショップは私たちの生活を豊かにするか」を決定して全体に提示する。
- ② 経済について興味・関心を高め、より実感をもって追究活動に取り組むことができるよう、アンケートの結果や統計資料や数値データ等を示して意欲を喚起する。また、テーマにかかわる職業に就いている方々からの聞き取り調査や講演会を実施し、生徒とテーマとのかかわらせ方を工夫する。
- ③ デフレやインフレのメリットやデメリットを多面的・多角的に考察し、主体的な判断ができるよう、考えを練り上げる段階において、異なるとらえ方を紹介したり、資料を紹介したりして、視点が一方にならないような学びの場を位置付ける。
- ④ テーマに対する互いの考えを比較検討して、経済を担う一員として必要な資質や能力を高められるよう、追究活動の途中に中間発表会を実施し学級の仲間と課題について意見交換する場面を設定する。
- ⑤ 課題に対する自分の考えがより明確となり、他者に分かりやすく表現できるよう、獲得した知識や将来の自分の在り方や生き方を提言文にまとめ、関係する機関に提言していく活動を取り入れる。
- ⑥ 生徒が学びへの見通しをもち、思考の変容を認識できるよう、自己評価カードを活用したり、評価の観点を事前に示したりして学びへの目標をもちながら効果的な自己評価を行う活動の場を位置付ける。

(2) 学びの流れ

1) 単元名

「私たちは賢い消費者になれるか - 激安ショップは私たちの生活を豊かにするか -」

2) ねらい

安く商品が手に入ることのメリット・デメリットを考え、不況の中でも豊かな生活を営むために賢い消費の在り方を主体的に判断しようとする意欲や態度をはぐくむことをねらいとする。

3) 本単元で大事にしたい学力

- ① 経済や金融と自分とのかかわりに気付き、賢い消費者になるために、自分の将来をどのように生きていくかを問い直していこうとする意欲や態度
- ② テーマ「私たちは賢い消費者になれるか - 激安ショップは私たちの生活を豊かにするか -」にかかわる追究課題を自ら設定して、見通しをもった追究計画を立てて追究し、追究成果を基に自分とは異なる考えや価値観を受容しながら自分の考えをまとめ上げる力
- ③ 経済を担う一員としてよりよく生きるために適切な情報や資料を収集したり、自分の追究成果や判断を客観的に分析したりして、考えを的確に表現する力
- ④ 経済の仕組みやその背景にかかわる問題を正しく理解し、経済を支える一員として自らの在り方を主体的に判断していくために必要な知識

4) 主な学習の流れ (全 32 時間)

① 人生設計から経済を考えよう！ (2 時間)

- 東京・沖縄修学旅行の金銭出納帳から消費の仕方について意見を発表し合う。
- 人生で大切だと思うものについてランキングを出し、お金の役割について考える。

② 私たちの暮らしと経済を考えよう！ (14 時間)

- 同じ商品でも価格が異なる理由を予想し、発表し合う。
- 価格の決定について需要と供給の関係を資料を基に考える。
- 学級の仲間と価格決定の疑似体験を行う。
- 租税の種類を調査し自分とのかかわりをワークシートにまとめる。「税の標語」を考える。
- 悪徳商法の手口や種類についてまとめる。
- 契約解除の仕方や手続きについて、実際に内容証明を作成し、疑似体験する。

③ インフレ・デフレを 4 コマ漫画で表そう (4 時間)

- インフレ、デフレとはどのような経済の状況なのかワークシートにまとめる。
- インフレ、デフレを 4 コマ漫画で表現する。
- 日本の経済の課題について、統計資料や数値データを基にワークシートにまとめる。

④ 激安ショップは私たちの生活を豊かにするか (12 時間)

- テーマ「私たちは賢い消費者になれるか - 激安ショップは私たちの生活を豊かにするか -」を受け、立場を明らかにし、個人の追究活動を行う。
- 個人の追究活動を通して、それぞれの立場の根拠となる情報や数値を収集する。
- 追究成果の発表会を実施し、仲間と意見交換しながら、考えを練り上げる。
- 金融広報中央委員会「おかねの作文コンクール」に学びの成果を提言文にして応募する。

5) 生徒の学びの様子

① 人生設計から経済を考えよう！

「東京・沖縄修学旅行」のしおりに記入された金銭出納帳から仲間のお金の使い方を比較検討し、どのタイプの小遣いの使い方が最良であるかディスカッションを実施した。

以下のような類別となった。

- A 自分が欲しい商品（衣類、小物）をたくさん購入し、残金をほとんど出さない。
- B 沖縄でしか買えない商品をたくさん購入し、残金をほとんど出さない。
- C 沖縄でしか買えない商品を購入し、残金を半分以上残し、自分の小遣いにする。
- D ほとんど購入せず、残金をたくさん残し、自分の小遣いにする。

ディスカッションでは多くの生徒が沖縄でしか買えない商品を購入しながら、残金を半分残す使い方に賛同した。しかし、他の主張の根拠もうなずけるものであり、仲間の意見を聞いて考えが揺さぶられる生徒も多く、経済と自分の生活を関連付けて考えるきっかけとなった。

【自己評価カードによる振り返り】

- 修学旅行ではお金は使わずに残すものだと思っていた。どうやって使わずに残そうかばかりを考えていたけど、使うことで得られる思い出もあるという意見に、なるほどと思った。(C男)
- 私は沖縄でつい目に入る小物をたくさん買ってしまい、ほとんどお金は残りませんでした。その時はすごくうれしかったけど、今考えてみると「もったいない」と思いました。(D子)
- 経済は難しいという印象があるけど、修学旅行で何を買うかも経済に関係することが分かった。今は不景気だし、お金を使わないよう心掛けたけど、お金を使うことで助かっている人もいることが分かり、これからも上手に使いたいと思う。(E子)

② 私たちの暮らしと経済を考えよう！

消費は個人又は各家庭で行われるものである。生徒の日常生活の中で、どのような実態があるか把握するために「どんな勧誘や商法があったか」「勧誘にのり、被害に遭わないためにどうすべきか」のテーマのいずれかを家庭で話し合い、その結果を学級で発表し合う学びを設定した。半数近くの家庭で迷惑な勧誘があったり、街頭で声を掛けられたりする経験をもっていた。これらの実態に生徒は驚きながら、「被害に遭わないためにどうすべきか」について、再度話し合った。

- 予想以上に多くの方が商品を買わされそうになっていることが分かり驚いた。最終的には、自分の意志で買うわけだから、買う側もしっかりと商品を見極めて買わなくてはならない。(F男)
- 以前電話がかかってきて、高価な参考書とテキストを買ってしまったことがある。母はなんとか返品しようとしたけどできなかった。商品を買う時は確実にその品物を見てから決めなくてはならないと思った。売る側が喜んで、買う側が後悔するようなことはあってはならないと思った。(G子)

これらの生徒の実態を受け、実際に契約解除の仕方や手続きの方法を疑似体験した。実際自分で契約解除の用紙を記入し、手続きの方法を知ったG子は、消費者という立場は守られるべきで、より賢くなるべきだという感想をもった。

③インフレ・デフレを4コマ漫画で表そう！

消費者の消費活動は国の経済の状況に左右される。インフレ、デフレという語句を耳にしたことはあるが、それが自分の生活に大きくかかわってくることに気付いていない生徒が多くいた。また、自分にはかかわりが無い、難しいので興味がない、と考える生徒も多くいた。そこで、インフレ、デフレとはどのような状況で、なぜ起こるのかについてウェブページや文献などを活用し、調べた結果をワークシートにまとめた。そして、獲得した知識や情報を基に自分とのかかわりを見出し、4コマ漫画で表現した。例えばデフレと1個59円で販売されたハンバーガーを関連付けたり、デフレと自分の小遣いを関連付けたりして、より身近な問題としてとらえることができた。完成した4コマ漫画は、最初にグループ内で発表し合い、まとめ方、表現の仕方、発表の態度、内容の工夫の観点から相互評価を行った。その後、グループの代表者が、投影機を用い、学級全体に発表した。

生徒は、自分にとって難しいと感じられていた経済に関する語句や獲得した知識を4コマ漫画で表現した。こうすることによって、より経済と自分とのかかわりが身近であることを実感していった。そして、このことが、生徒の視点から経済を考えることに有効であった。

④激安ショップは私たちの生活を豊かにするか—追究成果を基に意見交換をしよう—

生徒に提示したテーマを基に、追究活動に入る。これまでの学びを生かして生徒はそれぞれの立場を決定し追究を行った。追究に入る段階でどのような資料や数値・データが必要か、何を調べるとどのようなことがいえるのか、明確な見通しをもって追究に取り組むよう助言した。

生徒の一部は、主張により一層説得力をもたせるため、実際に100円均一ショップや大量生産により低価格で販売しているショップに聞き取り調査に出かけ、その結果をまとめた。そこで学んだ売り上げを上げるための工夫やコストを下げるための工夫を踏まえながら、安く商品が手に入ることは多くの消費者にとって助かることであり、生活を豊かにするという主張を展開した。そして、実際に安い衣類を購入してきて、学級の仲間に披露した。多くの生徒が「そんなに安く買えるのか」と驚きの声をあげた。

意見交換では、安い人件費を求め、企業の生産活動を海外にシフトするため、国内の産業が衰退し、倒産・失業が増える、という主張と安く商品を手に入れることで物を豊富に買え、経済は活発になり、家計も助かる、という主張が争点となった。視点を生産者側に置くか、消費者側に置くかで、生徒の主張が分かれた。この意見交換では、「豊かさ」の定義付けを確立しておくことで、生徒の学びがより深まったと考えられる。改めて、意見交換でのテーマ設定の難しさと重要性を実感した。

III おわりに

ここでは、単元を通して得た成果の紹介をもって、結びとする。

これまで、網羅的に経済にかかわる語句の説明だけに終始した経済単元であった。ここから生徒は何を学び、どう生活に生かしていったのであろう。この実践を通して、得たものは大きい。金融教育の必要性に関する認識が教師だけでなく、生徒にとっても深まったと考える。生徒は「激安ショップは私たちの生活を豊かにするか」のテーマを受け、自らの立場を明らかにして追究計画を立て、具体的に何を調べると何が分かるのかを意識しながら調査活動を進めた。身近で、日頃頻繁に利用している「激安ショップ」を題材としたことで、生徒の関心が高まり、日頃見られない意欲的な追究が見られた。さらに、追究の過程で自分の主張が全く逆になる生徒も見られた。思考が変容した理由やデータ、情報との出会いから、生徒は客観的に自分の考えを見つめ直

した。

また、生徒の感想の中には、「今たくさん金融トラブルがあるが、具体的にどう対応すればよいか分かった。トラブルに巻き込まれない知識がついたと思う」や「今まで安いという理由だけでモノを買っていたけど、これからは制作した人の意志や思いを考えながら、賢い消費者になりたい」といった振り返りの記述があった。これは、体験活動などを単元に組み込んだり、意見交換を実施したりした成果であると考えられる。ヒトやモノとのかかわりから、お金の大切さや健全な生活を送る知識、トラブルへの対応力、自分自身の消費の在り方を中学生の視点でとらえる機会を得たことが大きな成果であるといえる。

最後に生徒が単元の終末時に記入した自己評価カードの記述から、学びの広がりを確認することができた一文を紹介し、本実践の結びとする。

- 100均は私にとってとても身近なものである。普段何気なしに利用しているけど、その背景にはいろいろな国がかかわっていたり、今の日本の経済の状況を反映したりしていることがわかった。「激安ショップは私たちの生活を豊かにするか」のテーマでクラスで意見交換を行って考えたことは、「豊かさの本当の意味」についてです。「豊かさ」は、安いモノをたくさん買うことで得られることもあるし、高価なモノを買うことで得られることもある。だから、その人自身で「豊かさ」は変わってくるのだと思う。私は、私なりの考えをもってモノを買えるようになりたいと思った。そして何よりも、自分の責任で選び、購入したモノは大切に使うことが私自身を「豊か」にすることだと実感した。(K子)

【単元について】

本単元では、デフレーションや悪徳商法など、経済にかかわる今日的な課題を、様々な調査活動や追究活動を通して考え、将来の経済の在り方を主体的に判断し、自分で切り開いていこうとする意欲や態度をはぐくむことをねらいとする。

現在の日本経済は混沌としており、不況、失業、景気悪化、金融の変化など先行きの見えない状況にある。生徒はこのような状況の中において、今後の世界や日本、地域の経済を支えていく存在となり、経済や金融とは生涯付き合っていくことになる。そのために経済や金融とどう向き合い、どう生きるのか、何を学ばなくてはならないのか、を考え、自己の責任において前向きに意志決定することが求められている。これらを中学校の段階から考えることは、国際社会、地域社会、家庭社会を生きる生徒にとって大きな意義がある。本単元では、生徒が将来に向け、希望や志をもち生きていくことができるよう、公民的分野の経済単元を中心に単元構成を行った。具体的にはデフレーションなどが自分の生活に及ぼす影響を考え、自ら課題を設定し、追究活動を行う。そこには世界との貿易のかかわりやデフレやインフレの実態を具体的に学ぶだけでなく、金融教育、消費者教育、キャリア教育など様々な教育と結び付ける。既存の社会科では網羅的に教え込む内容を、生徒自らが主体的に学ぶことで、多様な学びが可能となる。そして追究成果を基に意見交換を行ったり、実際にデフレの中で利益を伸ばしている企業の方による講演会を行ったりすることで、経済に関する見方や考え方を養う。これらの学びから経済や金融は自分の日常生活と直接的・間接的にかかわり、自分の生き方を主体的に考えることの重要性に気付く。また、調査や追究から自分なりの結論を導き出し、主体的に判断できる価値葛藤の場を単元に位置付ける。

調査や体験活動、聞き取り、情報の収集、意見交換、発表や報告など多様な学びの形態により、獲得した様々な知識を活用し、これからの自分の生活に対してどう向き合い、生活していくかを考え、よりよく実践していこうとするようになることを期待している。

【生徒の実態】

3年生119名を対象に実施したアンケート結果によると、これからの日本の経済について、57%の生徒が「暗い」又は「非常に暗い」と回答し、12%の生徒が「今と変わらない」と考えている。その理由として、57%の生徒が「長引く不況」、32%の生徒が「失業者（リストラ）の増加」を理由にあげた。また、将来就きたい職業についても、39%の生徒が「未定」と答え、次いで20%の生徒が「専門職」、13%の生徒が「公務員」と回答した。これらのことから、自分の将来に明るい展望や夢をもつ生徒は少ない実態として浮かび上がった。そこで、現実の社会を直視しながら、自分の将来や未来について前向きに考え、切り拓いていこうとする姿勢をもつことが必要であると考え、本単元を構想した。

【大事にしたい学力】（意・思・表・知は各観点を示す）

- 意 経済や金融と自分とのかかわりに気付き、賢い消費者になるために、自分の将来をどのように生きていくかを問い直していこうとする意欲や態度
- 思 テーマ「激安ショップは生活を豊かにするか」にかかわる追究課題を自ら設定して、見通しをもった追究計画を立てて追究し、追究成果を基に自分とは異なる考えや価値観を受容しながら自分の考えをまとめ上げる力
- 表 経済を担う一員としてよりよく生きるために必要かつ適切な情報や資料を収集したり、自分の追究成果や判断を客観的に分析したりして、考えを的確に表現する力
- 知 経済の様々な仕組みやその背景にかかわる様々な問題について正しく理解し、未来の経済を支える一員として主体的に判断していくために必要な知識

【具体的な手立て】

- ㉗ 様々な課題を設定でき、多様な追究ができるよう、テーマに関するアンケートを実施して問題意識を事前に把握し、生徒の問題意識を包括するテーマ「激安ショッピングは私たちの生活を豊かにするか」を決定して全体に提示する。
- ㉘ 経済について興味・関心を高め、より実感をもって追究活動に取り組むことができるよう、アンケートの結果や統計資料や数値データ等を示して意欲を喚起する。また、テーマにかかわる職業に就く方々からの聞き取り調査や講演会を実施し、生徒とテーマとのかかわらせ方を工夫する。
- ㉙ デフレやインフレのメリットやデメリットを多面的・多角的に考察し、主体的な判断ができるよう、考えを練り上げる段階において、異なるとらえ方を紹介したり、資料を紹介したりして、視点が一方方向にならないような学びの場を位置付ける。
- ㉚ テーマに対する互いの考えを比較検討して、経済を担う一員として必要な資質や能力を高められるよう、追究活動の途中に中間発表会を実施し、学級の仲間と課題について議論し合う意見交換を実施する。
- ㉛ 課題に対する自分の考えがより明確となり、他者に分かりやすく表現できるよう、獲得した知識や将来の自分の在り方や生き方を提言文にまとめ、関係する方々に提言していく活動を取り入れる。
- ㉜ 生徒が学びへの見通しをもち、思考の変容を認識できるよう、自己評価カードを活用したり、評価の観点を事前に示したりして、学びへの目標をもちながら効果的な自己評価を行う活動の場を位置付ける。

【大事にしたい学力の評価基準】（ゴシック部分は十分に満足できる状況を示す）

- 意** ① 経済や金融などの問題が自分の生活と密接にかかわっていることに気付き、追究課題を設定し、自ら進んで追究活動に取り組んでいる。
- ② 経済や金融にかかわる様々な課題から経済を担う一員としての自分の生き方を考え、実際の生活場面で具体的に判断しようとしている。
- 思** ① 不況の中で豊かな生活を送るための条件について、自ら設定した課題を解決するために、何をどう調査すると何が分かるのかを筋道を立てて考え、具体的な追究計画を立てることができる。
- ② テーマにかかわる体験活動や調査活動の追究成果を基に、経済にかかわる問題について多面的・多角的に考察し、インフレ、デフレの様々なメリット・デメリットについて批判的・客観的に判断し、自分の考えを高め、まとめることができる。
- 表** ① 経済を担う一員として課題の解決のために、文献やウェブページ、聞き取り、見学や体験など多様な方法で、必要な情報の収集や比較・検討などを目的に応じて行うことができる。
- ② 様々な資料や情報を駆使し、追究成果を読み手や聞き手を意識して分かりやすく発表したり、意見したりすることができる。
- 知** 経済に関わる課題と自分との生活を関連付けたり、流通や財政などの仕組みを理解しながら、商品ニーズを考えたりして、経済を担う一員としての在り方や生き方を具体的に考え、提言文にまとめることができる。

時間	主な学習活動(○)	手立て(㉗～㉙)、評価(意・思・表・知)
2	<p>○ ガイダンスにより、学びへの見通しをもつ。</p> <p style="text-align: center;">人生設計から経済を考えよう！</p> <p>○ 「あなたが人生で大切だと思うものは？」についてランキングを出し、その結果と根拠を学級の仲間に伝え合い、お金の役割について自分の考えを述べ合う。</p> <p>○ 近い将来の夢や目標、将来の夢や目標の達成に向け人生設計を立て、どのような時にお金が必要となるか、学級の仲間と考える。</p> <p>○ 2年生の年度末に実施した東京・沖縄修学旅行の金銭出納帳から、仲間の消費の仕方やお金の使い方について、学級の仲間と意見を述べ合い、賢い消費者の在り方を自分なりに考える。</p>	<p>㉗ 学びへの見通しをもち、思考を深められるよう、教師によるガイダンスを行う。</p> <p>㉘ 経済に興味・関心を高め、実感をもって追究活動に取り組むことができるよう、ランキングや人生設計を発表し合い、課題とのかかわらせ方を工夫する。</p> <p>意① 自分の生活の中でも経済活動が行われ、自分の消費活動が経済と密接にかかわっていることに気づき、意欲的によりよい消費生活を考えようとしている。 〈自己評価カード〉</p> <p>思② 自分にかかわる身近な消費生活から、よりよい消費の仕方について、3つ以上考え、自分の考えをまとめ、発表することができる。 〈発表の様子〉</p>
14	<p style="text-align: center;">私たちの暮らしと経済を考えよう！</p> <p>○ 消費者の権利についてまとめ、消費者主権の意義を考え、仲間と発表し合う。</p> <p>○ 販売されている店によって、同じ商品でも価格が異なっていることに気づき、その理由を考え、学級の仲間と予想を発表し合う。</p> <p>○ 需要と供給の関係をグラフや統計から整理し、仲間と話し合いながら実際に商品の価格を決める疑似体験を行う。</p> <p>○ 租税の種類や用途を調査し、自分の日常生活とのかかわりはどんな点か、についてワークシートにまとめる。</p> <p>○ 労働者にはどのような権利があるか、歴史的な学びと関連付けながら、ワークシートにまとめる。</p> <p>○ 悪徳商法にはどのようなものがあるか調査し、契約解除の仕方や手続きについて実際にクーリングオフを疑似体験し、悪徳商法について考えたことを意見交換する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・ マルチ(まがい)商法 ・ アポイントメントセールス ・ キャッチセールス ・ 電話勧誘商法 など</p> </div>	<p>㉙ 消費者の権利について興味・関心を高められるよう、自分の考えを仲間に伝える活動の場を位置付ける。</p> <p>㉚ 商品の価格が異なる理由を様々な条件から考察できるように、流通経路が多様であることを資料や図から判断する場を設定する。</p> <p>㉛ 価格決定の仕組みに興味・関心をもって考えることができるよう、生産者と消費者の立場に分かれ、話し合いから価格を決定する体験を取り入れる。</p> <p>意① 価格の決定や流通が自分の消費生活と密接にかかわっていることに気づき、自ら進んで考えを述べている。 〈自己評価カード〉</p> <p>思② 身近な経済活動にかかわる調査や追究から、経済にかかわる問題について自分の経験や社会の出来事から考察し、自分との関わりを考えまとめることができる。 〈ワークシート〉</p> <p>㉜ 悪徳商法に対する考えを比較検討し、賢い消費者として必要な資質や能力を高められるよう、被害に遭わないために何をすべきかについて意見を交換する。</p>

激安ショップは私たちの生活を豊かにするか

- インフレーションやデフレーションとはどのような背景から発生した現象なのかを4コマ漫画にまとめ、仲間と発表し合う。
- 日本の経済の課題について統計や数値データからまとめ、仲間と発表し合い、その解決策についてワークシートにまとめる。
- 激安ショップ社長、ユニクロ上越店店長から、デフレの中で業績を上げるための取組や生産、販売の工夫についての講演を聞き、デフレやインフレのメリット、デメリットを考える。
- 価格の高い製品を扱っている店の店長から、激安商品に負けないための工夫や努力についての講演を聞き、両者の違いをまとめる。
- 講演内容やこれまでの学びを基にして、激安ショップは生活を豊かにするかどうかについて自分の主張を明確にし、自ら課題を設定し、追究計画を立て、追究活動を行う。

〈豊かになる〉

- ・ 物価が下がり、買い物がしやすくなる。
- ・ 購買力が高まり、潤う。
- ・ 売る側もたくさん売ろうと努力する。

〈豊かにならない〉

- ・ 販売競争に負けた企業は倒産する。
 - ・ 消費者にとって有益だ。
 - ・ 欲しい物が手に入りやすくなる。など
- 必要に応じて、それぞれの立場にかかわる、企業や関係する職場へ聞き取り調査を行いその内容をまとめる。
 - 追究成果や調査結果をポスターにまとめ、自分の主張の根拠を明確にししながら、中間発表会に向けて準備する。
 - テーマにかかわる中間発表会を行い、学級の仲間と意見交換をしながら、考えを練り上げる。
 - 中間発表会での学級の仲間の意見を基にししながら、再度追究活動に取り組み、資料を準備したり、異なる主張への反論の準備をしたりする。
 - 金融広報中央委員会「おかねの作文コンクール」に、これまでの学びを生かしながら、よりよい消費者になるための提案を応募する。

- ④ 日本の経済の課題をどう解決していくべきか、自分の考えを明確にできるよう、これまでの学びを生かし提言する場を位置付ける。

知 デフレなど、経済に関わる今日的な課題の背景やその内容を自分の生活と関連付け、**具体的に**述べるができる。 〈ワークシート〉

- ① 不景気の中でも利益を上げている職種の工夫を理解できるよう、講演会を実施し、生徒とテーマとのかかわらせ方を工夫する。
- ② デフレやインフレのメリットやデメリットを多様な視点で考察し、主体的な判断ができるよう、相対する立場の方からの講演会を実施し、視点が一方方向にならないよう配慮する。

表① デフレ、インフレについて**多様な**視点から比較・検討し、その結果を分かりやすくまとめることができる。 〈ワークシート〉

- ⑦ 生徒が様々な課題を設定でき、多様な追究ができるよう、講演会やこれまでの学びを想起しながら、生徒の問題意識を包括するようなテーマを全体に提示する。

思① 課題解決のために、何をどう調査すると何が分かるのかを**筋道を立てて**考え、**具体的な**追究計画を立てることができる。 〈追究計画〉

- ⑤ 異なる意見や主張を認識できるよう、多様な視点で考察するよう支援する。
- ① 再度疑問に思ったことを明確にできるよう、聞き取り調査を行う場を設定する。

表② 追究成果を**読み手や聞き手を意識して**分かりやすく発表したり、意見したりすることができる。 〈意見交換の様子〉

- ① 追究成果を基に、効果的な話し合いができるよう、中間発表会を実施し、学級の仲間と課題について議論し合う意見交換を実施する。
- ⑦ 生徒の思考を深められるよう、自己評価カードを活用し、学びを想起する。
- ④ 課題に対する自分の考えがより明確となるよう、自分の在り方や生き方を提言文にまとめる活動を取り入れる。

意② 地域経済の将来を考え、実際の生活場面で**具体的に**できることは何か考えようとしている。 〈自己評価カード〉

知 経済に関わる課題と自分との生活を関連付け、経済を担う一員として在り方や生き方を**具体的に**考えることができる。 〈おかねの作文〉

【本時の学習】3年1組総合社会科指導案 2005年6月29日(水)3限
激安ショップは生活を豊かにするか 授業者 柳澤 一輝

1 本時のねらい (本時 28 / 32 時間)

・テーマ「激安ショップは生活を豊かにするか」について、生徒が自ら設定した課題の追究成果を基に、意見交換し、自分の考えを論理的に表現したり、異なる考えを受容しながら、自分の考えを練り上げる。

2 展開

時間	学習活動(○)	手立て(㊦～㊧、○)、評価(意・表・理・知)
5	<p style="text-align: center;">激安ショップは生活を豊かにするか</p>	<p>○ 生徒の課題に対する主張や意見が把握でき、活発に意見交換ができるよう、各自の主張の一覧をまとめて全体に提示する。</p>
	<p>○ これまでの学びを振り返り、各自の主張をプリントで確認する。</p> <p>○ 本時の目標を教師の説明から確認する。</p>	<p>○ 生徒の課題に対する主張や意見が把握でき、活発に意見交換ができるよう、各自の主張の一覧をまとめて全体に提示する。</p>
	<p>○ テーマにかかわるそれぞれの立場の主張を聞き取りや追究の結果を基にそれぞれの立場で主張し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">〈予想される生徒の主張〉</p> <p>—豊かにする派の主張—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安く買えることはいいことだ ・店の利益が上がることで景気が回復できる ・たくさん作れば失業者が減る ・生活用品が安く買えるので助かる ・家計が助かる <p>—豊かにならない派の主張—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国が太り、日本がやせる ・デフレスパイラルを起こす ・無駄遣いや低品質 ・商品に個性がない ・ゴミが増える ・他の店がつぶれる ・大量生産が環境問題につながる ・海外が豊かになる </div> <p>○ 意見交換の中で、異なる主張に対して反論や意見を述べたり、疑問に思うことに質問したりする。</p> <p>○ 仲間の主張の概要や疑問、意見をメモにとりながら発表を聞いたり、メモを基に発言したりする。</p> <p>○ 意見や質問に対して、自分たちの主張や考えの根拠を回答できるようにグループ内で話し合い、具体的な数値やデータを用いて回答する。</p> <p>○ 本時の学びを振り返り、生活が豊かであることの定義を考え、ワークシートに記入する。</p>	<p>㊦ テーマに対する互いの考えを比較検討して、自分の考えを練り上げながら、意見をぶつけ合うことができるよう、これまでの学びやレポートを用いて意見を述べる意見交換を実施する。</p> <p>㊧ 激安商品と関連させて、デフレやインフレのメリットやデメリットを多面的・多角的に考察できるように、考えを練り上げる段階において、資料を紹介したりして、視点が一方にならないような学びの場を位置付ける。</p> <p>○ 論点が明確になるよう、互いの主張を整理し、意見交換の焦点を絞る。</p> <p>○ 相手の主張はメモを取らせる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">〈意見交換での配慮事項〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の立場や論点を明確にし、その根拠を踏まえて意見を述べる。 ・追究の結果(調査、インタビュー)や具体的なデータ、数値を活用して発表する。 ・意見交換から考えや立場が変わるときはその理由や根拠を明確にする。 ・実際の激安商品を提示し、意欲を喚起する。 </div> <p>㊨ より実感をもって課題について考えを深めることができるよう、統計資料や数値、データを基に意見を述べたり、聞き取り調査やインタビューの結果を述べたりする活動の場を設定する。</p> <p>㊩ 意見交換を通して、思考の変容や考えを深めたことが認識できるように、自己評価カードを活用する。</p> <p>思② テーマにかかわって、これまでの学びや追究成果を基に、自分とは異なる考えや価値観を共有しながら、多面的・多角的に考察し、自分の考えを高め、まとめることができる。 〈自己評価用紙〉</p> <p>表② 様々な資料や情報を駆使し、追究成果を読み手や聞き手を意識して分かりやすく発表したり、意見したりすることができる。 〈発表の様子〉</p>

【本時の学習】 2005年5月26日(木) 4限
 インフレ、デフレを4コマ漫画で表現しよう 授業者 柳澤 一輝

1 本時のねらい(本時 20 / 32 時間)

- ・インフレ、デフレによる影響や背景を理解しながら、学級の仲間に4コマ漫画で説明することができる。
- ・デフレにより、物価が下降し続ける状態は、消費者にとって有益かどうかを根拠をもって説明することができる。

2 展開

時間	学習活動(○)	手立て(㊦～㊧、○)、評価(意・表・理・知)
20	<p>○ 本時の目標や流れを教師の説明で確認する。</p> <p style="text-align: center;">インフレ、デフレを4コマ漫画で表現しよう</p> <p>○ 各自が作成したインフレ、デフレに関する4コマ漫画を小グループで発表し合い、自分の考えや表現の意図を具体的に述べる。</p> <p>○ 仲間の発表を聞き、相互評価を行う。</p> <p>○ グループの代表を決め、自分の作品を投影機を用いて、学級全体に発表する。</p> <p>○ 教師の説明や仲間のアドバイスを基に再度インフレ、デフレについての理解を深める。</p>	<p>㊦ インフレ、デフレについて他者に分かりやすく表現できるように、4コマ漫画という手法を用い、自分の考えを発表し合う活動を取り入れる。</p> <p>㊧ 仲間の発表からインフレ、デフレの理解を深められるよう、発表を聞き、相互評価する活動を位置付ける。</p> <p>㊨ デフレ、インフレの特徴を自分なりに捉えられるよう、様々な視点でまとめた4コマ漫画を全体に発表する場を設定する。</p> <p>知 インフレ、デフレの影響や特徴を正しく理解し、適切に発表することができる。〈相互評価用紙、発表の内容〉</p>
30	<p style="text-align: center;">デフレは損か得か？</p> <p>○ ユニクロの製品を基に、なぜ低価格でも利益を上げ、どのような生産活動をしているのか、自分の考えを発表する。</p> <p>○ デフレのメリット、デメリットについて、これまでの学びを基に確認し、デフレの状態は消費者にとって得か損かについて、自分の考えを明確にもつ。</p> <p>○ 自分の主張を黒板にネームプレートで掲示する。</p> <p>○ 自分の考えの根拠を発表し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〈デフレは損だの立場の意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の売り上げが落ちる。 ・失業者が増える。 など <p>〈デフレは得だの立場の意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安く商品を手に入れることができる。 ・欲しい物が手に入ることで豊かになる。 </div> <p>○ 教科書(P.114)を用い、景気の悪い時に、政府はどのような政策を行うのか確認する。</p> <p>○ 振り返りを行う。</p>	<p>㊩ デフレと自分とのかかわりについて興味・関心を高められるよう、印象の強い教材を提示し、生徒とテーマとのかかわらせ方を工夫する。</p> <p>㊪ デフレについて多様な思考をもつことができるよう、生徒の問題意識を包括するテーマ「デフレは消費者にとって損か得か？」を決定して全体に提示する。</p> <p>㊫ デフレのメリットやデメリットを多面的・多角的に考察できるように、生徒の様々な考えを引き出し、視点が一方方向にならないような学びの場を位置付ける。</p> <p>○ 生徒の主張を明確にもたせる。</p> <p>㊬ デフレに対する互いの考えを比較検討しながら、自分の考えの根拠を明確にもち、思考を構築できるように、学級の仲間とテーマについて議論し合う場を設定する。</p> <p>○ 生徒の主張や考えを黒板にキーワードとして書き、論点を明確にする。</p> <p>○ 教科書を用い、デフレの時の政府の財政活動について説明する。</p> <p>思 ②テーマ「デフレは消費者にとって損か得か？」にかかわり、これまでの学びや考えたことを根拠にして、自分とは異なる考えや価値観を受容しながら自分の考えをまとめ上げることができる。</p> <p>㊭ 生徒の思考の変容を認識できるように、自己評価カードを活用し、学びの目標が達成できたか自覚できる活動の場を位置付ける。</p>

インフレ、デフレを4コマ漫画で表現しよう

評価用紙

No Name

本時のねらい

- ・インフレ、デフレによる影響や背景を理解しながら、学級の仲間に4コマ漫画でわかりやすく説明することができる。
- ・デフレにより物価が下降し続ける状態は、消費者にとって得か損かについて根拠をもって説明することができる。

相互評価 「インフレ、デフレを4コマ漫画で表現しよう」 ※仲間の発表を相互評価しよう

A (たいへんよい)、B (よい)、C (ふつう)、D (努力や改善が必要) 観点に○

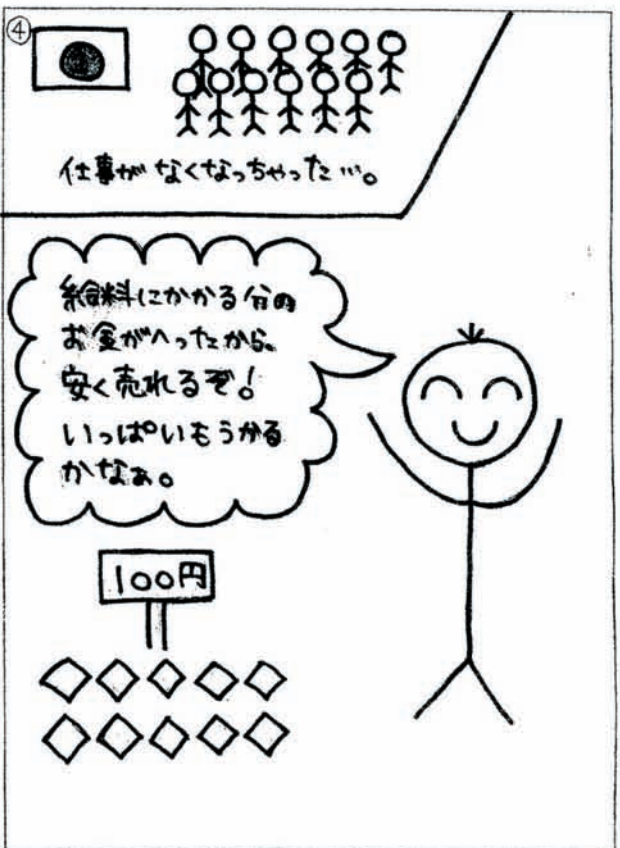
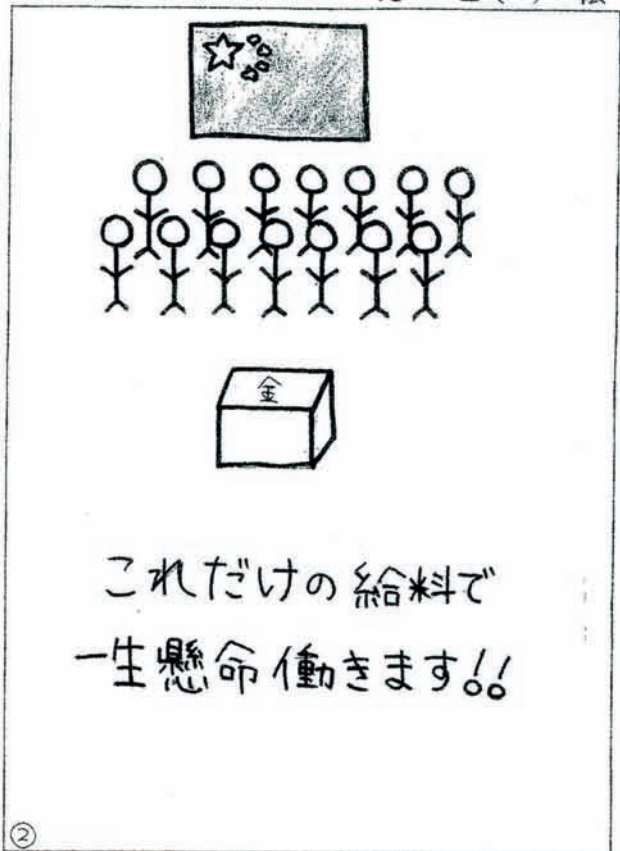
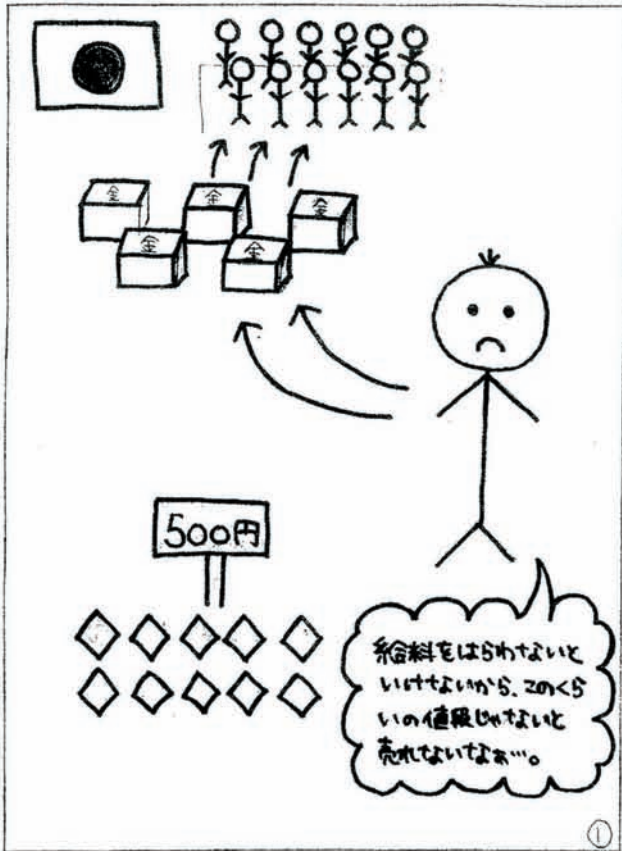
<p>「 さんの発表を聞いて」</p> <p>① 発表の声や態度は適切であったか。 【 A B C D 】</p> <p>② 分かりやすく内容を発表していたか 【 A B C D 】</p> <p>③ 発表を聞いて理解が深まったか 【 A B C D 】</p> <p>④ 総合 【 A B C D 】</p>	<p>「 さんの発表を聞いて」</p> <p>① 発表の声や態度は適切であったか。 【 A B C D 】</p> <p>② 分かりやすく内容を発表していたか 【 A B C D 】</p> <p>③ 発表を聞いて理解が深まったか 【 A B C D 】</p> <p>④ 総合 【 A B C D 】</p>
<p>「 さんの発表を聞いて」</p> <p>① 発表の声や態度は適切であったか。 【 A B C D 】</p> <p>② 分かりやすく内容を発表していたか 【 A B C D 】</p> <p>③ 発表を聞いて理解が深まったか 【 A B C D 】</p> <p>④ 総合 【 A B C D 】</p>	<p>「 さんの発表を聞いて」</p> <p>① 発表の声や態度は適切であったか。 【 A B C D 】</p> <p>② 分かりやすく内容を発表していたか 【 A B C D 】</p> <p>③ 発表を聞いて理解が深まったか 【 A B C D 】</p> <p>④ 総合 【 A B C D 】</p>

自己評価 「デフレは得か損か」 ※今日の授業を通して、考えたことや分かったことをまとめよう！

タイトル「日本企業の海外進出」

総合社会科 ワークシート

「 月 日() 限



東京・沖縄修学旅行の金銭出納帳から考えよう

総合社会科 ワークシート

No

Name

<p style="text-align: center;">Aさん 小遣い 15,000円</p>			<p style="text-align: center;">Bさん 小遣い 15,000円</p>		
3/8	昼食	790円	靖国神社おまもり	1,600円	
3/9	昼食	630円	軽食（ソフトクリーム）	200円	
3/9	おみやげ	210円	飲み物（ペットボトル）	200円	
3/9	おみやげ	210円	お参り	10円	
3/10	昼食	630円	おみやげ（ようかんハイチュウ）	2,000円	
3/10	琉球村（おみやげ）	210円	アイスクリーム	200円	
3/11	国際通り（おみやげ）	630円	キーホルダー（3つ）	2,100円	
	〃	820円	アイスクリーム	250円	
	〃	300円	アクセサリ	2,990円	
	〃	420円	キーホルダー（2つ）	760円	
	〃	420円	シゲキックス	399円	
	〃	420円	パッケンチョコ	599円	
			Tシャツ2枚	1,480円	
	残 高	9,310円	タコライス	600円	
			おかし	1,000円	
			残 高	612円	
<p style="text-align: center;">Cさん 小遣い 15,000円</p>			<p style="text-align: center;">Dさん 小遣い 15,000円</p>		
Tシャツ	2,500円		食事	600円	
マウスパット	1,000円		食事	500円	
ストラップ	700円		食事	600円	
夕食	500円		ちんすこう	500円	
ちんすこう	500円		ジュース	300円	
Tシャツ	1,500円				
アクセサリ	300円		残 高	12,500円	
ストラップ×2	1,200円				
キーホルダー	1,000円				
Tシャツ	2,000円				
お菓子セット	1,000円				
食事	500円				
	残 高	2,300円			

★ 賢い消費の仕方をしている仲間は？

理由・根拠 …… 評価ポイント